

第2期芦屋町観光基本構想評価シート（抜粋）

施策2 イベントにおける芦屋町の魅力の提供		担当部署	年度												第2期目標 及び備考など	令和7年度実施予定	令和7年度実施状況等	左記（令和7年度実施状況等）の根拠	令和7年度 目標の達成状況		令和8年度実施予定
No.	実施項目 実施概要		R5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	状況	状況が「C」「D」の場合の理由							
①	イベントの集客力の強化 担当部署：商工観光係、観光協会、シティブロモーション係 あしや花火大会やあしや砂像展をはじめ、町内の各種イベントについては、SNSを効果的に用いた情報発信の強化やイベント相互のPRなどによる集客力の強化を図ります。また、地域資源を活かした新たな魅力創出のための調査研究を行います。	商工観光係													・各種イベント等のSNS等を活用した情報発信を行います。 （インスタグラム投稿30回） ・夏井ヶ浜はまゆう公園実施イベントの、公園利用許可申請受付を行います。（3件） ・芦屋町No.1プロジェクトの施策を実施します。 （1回） ・イベント間の連携を図り、相互PRを行います。 ・芦屋町No.1プロジェクトにてアンケート調査を実施します。	・各種イベント等のSNS等を活用した情報発信を行いました。 ・夏井ヶ浜はまゆう公園実施イベントの、公園利用許可申請受付を行いました。 ・観光あしや協議会にて芦屋町No.1プロジェクトの施策を協議し施策を実施しました。 ・砂像展と花火大会でイベント間の連携を図り、相互PRを行いました。 ・芦屋町No.1プロジェクトにてアンケート調査を実施しました。	・あしや砂像展インスタグラム投稿数 46回 ・夏井ヶ浜はまゆう公園利用申請によるイベント件数 2件 ・芦屋町No.1プロジェクトの実施策 1 ・イベント間の連携 1回 ・WEBアンケート調査 1回	A	B	・各種イベント等のSNS等を活用した情報発信を行います。 （インスタグラム投稿30回） ・夏井ヶ浜はまゆう公園実施イベントの、公園利用許可申請受付を行います。（3件） ・芦屋町No.1プロジェクトの施策を実施します。 （1回） ・イベント間の連携を図り、相互PRを行います。	

施策4 観光施設の維持管理による快適な空間づくり

No.	実施項目 実施概要	担当部署	年度												第2期目標 及び備考など	令和7年度実施予定	令和7年度実施状況等	左記（令和7年度実施状況等）の根拠	令和7年度 目標の達成状況		令和8年度実施予定
			R5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	状況	状況が「C」「D」の場合の理由							
④	魚見公園 担当部署：商工観光係 魚見公園から梅林公園にかけては高台に位置しており、そこからの眺望や園内の四季折々の花々は魅力的な観光資源です。訪れた人々がゆつくりと安全に園内を見て回れるよう展望所や散策道の整備を行います。また、自然公園として観光客の増加を図るため、整備内容について検討します。	商工観光係												適正に管理し、効率的な整備を行う。	・各展望所及び園路の整備について整備工事を行います。（令和7年度までの2ヵ年事業） ・樹木剪定、清掃等を行い、景観の保持を行います。 ・巡視清掃（年8回）等 ・魚見公園基本計画（もみじ谷）の策定	・各展望所及び園路の整備について整備工事を行いました。（令和7年度までの2ヵ年事業） ・兼者に委託し樹木剪定、清掃等を行い、景観の保持を行いました。 ・魚見公園基本計画（もみじ谷）の策定を行いました。	・巡視清掃（年8回）等	A	A	・樹木剪定、清掃等を行い、景観の保持を行います。 ・巡視清掃（年20回）等 ・必要に応じて整備等を実施します。	
		実施	実施	実施																	
⑤	国民宿舎マリンテラスあしや 担当部署：商工観光係 国民宿舎マリンテラスあしやは、令和元（2019）年度に策定した国民宿舎マリンテラスあしや長寿寿命化計画に基づき、施設の管理を行います。また、芦屋町の観光客誘致の拠点の一つであるため、快適な宿泊環境を提供し、民間の手法を取り入れたサービス向上に取り組み、訪れた観光客に満足していただくことで、リピーターの増加を図ります。	商工観光係												国民宿舎マリンテラスあしや長寿寿命化計画に基づき、施設の管理を行う。サービス向上に取り組み、リピーター増加を図る。	・施設の整備・活用のため適正な管理を行います。 指定管理者により、宿泊、レストラン部門等で事業を実施します 宿泊客数目標：19,300人	・施設の整備・活用のため適宜補修等を実施し、適正な管理を行いました。 ・指定管理者により、宿泊、レストラン部門等で事業を実施しました。	・宿泊客数 18,596人	A	A	・施設の整備・活用のため適正な管理を行います。 指定管理者により、宿泊、レストラン部門等で事業を実施します。 宿泊客数目標：20,000人	
		実施	実施	実施																	

施策5 芦屋港における新たな観光スタイルの創出

No.	実施項目 実施概要	担当部署	年度												第2期目標 及び備考など	令和7年度実施予定	令和7年度実施状況等	左記（令和7年度実施状況等）の根拠	令和7年度 目標の達成状況		令和8年度実施予定
			R5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	状況	状況が「C」「D」の場合の理由							
①	芦屋港レジャー港化 担当部署：芦屋港活性化推進室事業推進係 「芦屋港活性化基本計画」に基づき、芦屋港を芦屋町の海を活かした観光振興に有効活用するため、求められるニーズに対応した施設の整備や、芦屋海浜公園と一体的な空間を形成し、新たな機能の導入や仕組みを構築することで観光拠点化と新たな観光スタイル創出を目指す。	芦屋港活性化推進室 事業推進係												・既存港湾施設（1号上屋等）利活用のための調査業務 芦屋港港湾施設について、官民連携による整備、管理運営の可能性を検討するための調査業務を行います。（業務報告書一式） ・芦屋港ポートパークの整備 芦屋港ポートパークの関連施設（駐車場等）に係る実施設計を行います。（実施設計の策定：一式） ・機運醸成事業 令和6年度に構築した仮想空間「メタバース芦屋港」による芦屋港のPRを行います。（芦屋港DAO※によるPR回数：12回） ※芦屋港DAO…Web上で芦屋港のイベントや企画について、コミュニケーションを図ることができる組織 ・機運醸成事業の推進	・既存港湾施設(1号上屋等)利活用のための調査業務 芦屋港官民連携導入可能性調査により、民間事業者との個別対話、VFMの算定を行い、令和8年度以降の実施方針を決定しました。 ・芦屋港ポートパークの整備 駐車場、管理事務所等の実施設計を行いました。 ・機運醸成事業 令和6年度に構築した仮想空間「メタバース芦屋港」を運用しました。（芦屋港DAOによるPR回数：0回） ・芦屋港ポートパークの整備 基本設計の策定（令和7年6月19日） 実施設計の策定（令和8年2月26日） ・機運醸成事業 メタバース芦屋港保守業務委託	・既存港湾施設(1号上屋等)利活用のための調査業務 民間事業者個別対話（サウンディング調査） 事前ヒアリング 13社 サウンディング 7社 追加サウンディング 13社 芦屋港活性化推進本部（令和7年3月25日） 実施方針の決定 ・芦屋港ポートパークの整備 基本設計の策定（令和7年6月19日） 実施設計の策定（令和8年2月26日） ・機運醸成事業 メタバース芦屋港保守業務委託	B	B	○芦屋港ポートパーク開業 ・ポートパークの管理運営を行います。 （維持管理等業務委託：契約一式） ・係留船の募集を行います。 （係留数：117隻※7割係留） ・施設開業に伴いイベントを実施します。 （実施回数：1回） ○1号上屋等利活用事業者の募集 ・基本計画の見直しを行います。 （見直し回数：1回） ・事業者の募集を行います。 （アドバイザー業務委託：契約一式） ○機運醸成事業 令和6年度に構築した仮想空間「メタバース芦屋港」による芦屋港のPRを行います。 （学校教育と連携した取り組み：1回）		
		一部実施	一部実施																		

施策10 芦屋釜の価値の発信と観光への活用

No.	実施項目 実施概要	担当部署	年度												第2期目標 及び備考など	令和7年度実施予定	令和7年度実施状況等	左記（令和7年度実施状況等）の根拠	令和7年度 目標の達成状況		令和8年度実施予定
	R5		6	7	8	9	10	11	12	13	14	状況	状況が「C」「D」の場合の理由								
①	芦屋釜の価値の発信 担当部署：芦屋釜の里・歴史の里係 芦屋釜は、茶の湯釜の国指定重要文化財9点のうち8点を占めています。その歴史的価値や評価について広く発信することで、芦屋釜の里をはじめ、現代の芦屋釜や芦屋鍋物などのブランドイメージの向上を図ります。 さらに、それらを生んだ芦屋町に多くの観光客が訪れるよう、観光への活用を図ります。	芦屋釜の里・歴史の里係												美術館等の展覧会への出品や展示に取り組み、芦屋釜の周知及び現代の芦屋釜のブランドイメージの向上を図ります。 また、企画展等を開催し、芦屋釜を広くPRすることで芦屋釜の周知及び観光客の誘客を図ります。 ・企画展等 2回	芦屋釜の里開館30周年を記念した特別展や企画展を開催しました。 福岡県知事公舎や福岡県アンテナレストラン等で芦屋釜の展示を行いました。 企画展等を開催し、芦屋釜の歴史的価値を広くPRし、現代の芦屋釜のブランドイメージ向上や観光客の誘致に取り組みました。	・外部での展示 4回 ・企画展 1回 ・特別展 1回	A	A	美術館等の展覧会への出品や展示に取り組み、芦屋釜の周知及び現代の芦屋釜のブランドイメージの向上を図ります。 また、企画展等を開催し、芦屋釜を広くPRすることで芦屋釜の周知及び観光客の誘客を図ります。 ・企画展等 2回		
		実施	実施	実施																	